

■ 第1回北海道脱炭素モデル地域構築懇話会（7月16日）

事務局
説明

- 定量・定性評価から地域類型毎にモデル地域候補を選定し、詳細調査を行い、地域課題を把握したのち道が伴走支援可能な施策を検討する。

★従来検討フロー



論点

（1）脱炭素化の考え方

（2）脱炭素モデル地域の選定について

委員
意見

- 議論の前提として、本事業における「**脱炭素化**」とは何か。
- 具体的に**どうなれば「地域脱炭素」になるのか**。
- 「地域」とは**どの範囲**を指すのか。（市町村単位か、広域、区域等の特定サイトも含むのか。）

- 1地域（または複数地域）先進的な脱炭素モデル地域を創ったとして、周囲の自治体や地域が追従できるのか疑問。
- きれいなモデルを創るよりも**全体への支援が必要**なのではないか。
- 脱炭素がどの程度進んだ地域をターゲットにするのか。
- 定量・定性評価した上で「道が」選定するとあるが、可能なのか。
- 地域が抱える**課題との同時解決性を評価する項目が欠如**している。
- 国の脱炭素先行100地域との棲み分けは必要だろう。

道の考える地域脱炭素化
イメージを整理

資料 1 - 2

市町村のニーズ・課題・進捗
に応じた支援策を整理

資料 1 - 3、1 - 4